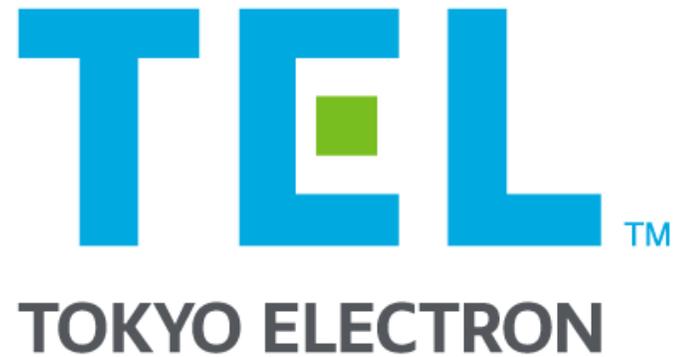


第60期 定時株主総会



2023年6月20日

第60期 業績報告

連結損益計算書

(億円)

	第59期 (%)		第60期 (%)		増減
売上高	20,038	100.0	22,090	100.0	+2,052
売上総利益	9,118	45.5	9,844	44.6	+725
営業利益	5,992	29.9	6,177	28.0	+184
経常利益	6,017	30.0	6,251	28.3	+234
税引前利益	5,966	29.8	6,248	28.3	+281
親会社株主に帰属する当期純利益	4,370	21.8	4,715	21.3	+345

売上高 及び すべての利益項目において過去最高を更新
3期連続で増収増益を達成

第60期 業績の背景

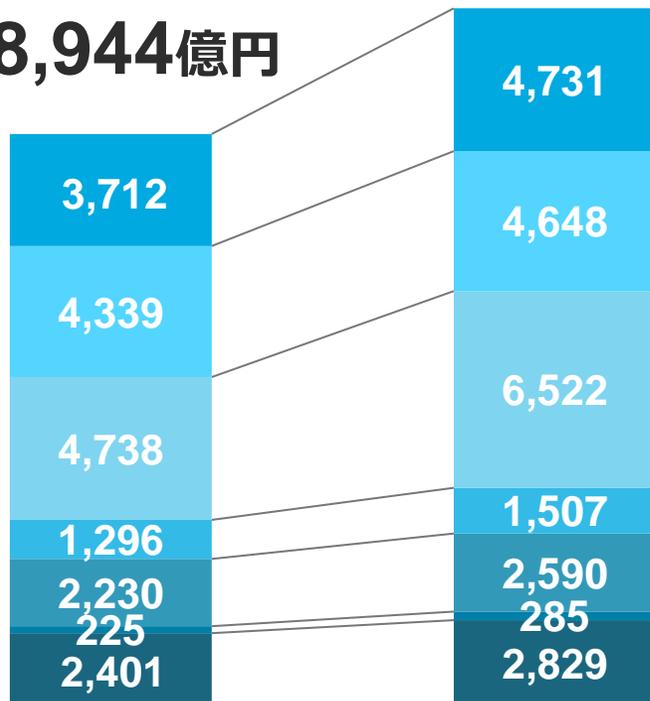
- データ社会への移行が加速
- あらゆる産業の成長ドライバーとして高まる半導体の重要性
- 注力分野における事業活動が順調に進捗
 - ✓ 付加価値の高い最先端装置の採用が拡大
- 過去最高となる1,911億円の研究開発投資を実施

連結貸借対照表

資産

23,115億円

18,944億円



現金及び現金同等物*

売上債権及び契約資産

棚卸資産

その他流動資産

有形固定資産

無形固定資産

投資その他資産

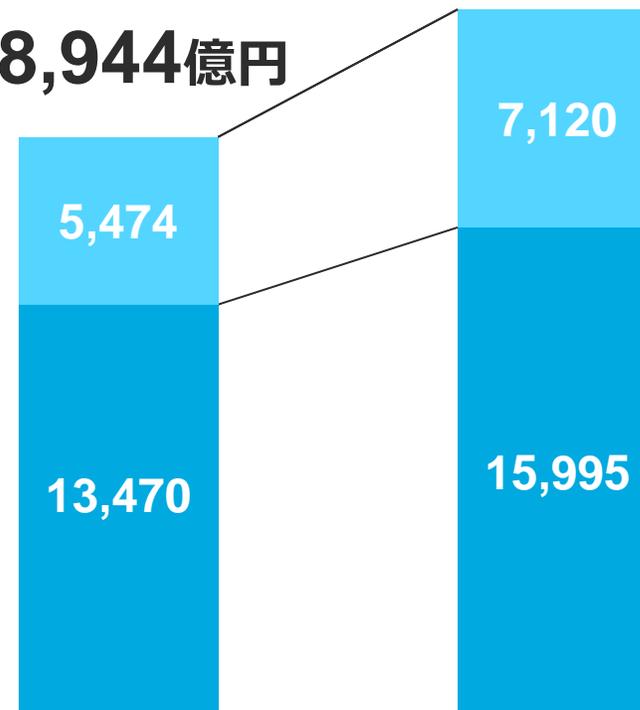
第59期

第60期

負債・純資産

23,115億円

18,944億円



負債

純資産

第59期

第60期

*定期預金 + 短期投資等（貸借対照表上の表示は有価証券）を含む

単独財務諸表の概要

■ 損益計算書

(億円)

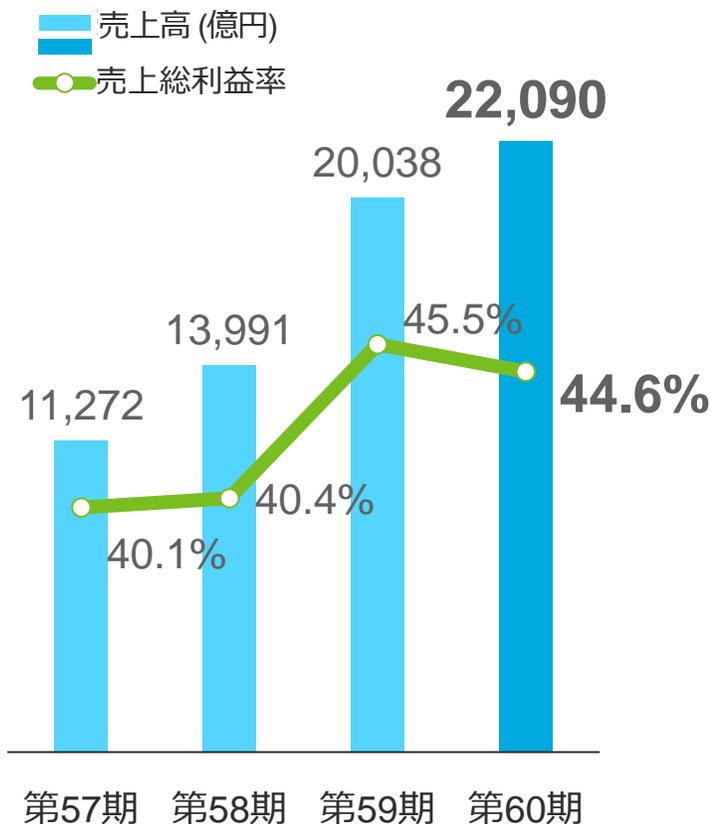
	第59期		第60期		増減
		(%)		(%)	
売上高	18,425	100.0	20,205	100.0	+1,779
営業利益	3,066	16.6	3,799	18.8	+733
経常利益	4,521	24.5	5,857	29.0	+1,335
税引前利益	4,522	24.5	5,854	29.0	+1,332
当期純利益	3,580	19.4	4,845	24.0	+1,264

■ 貸借対照表

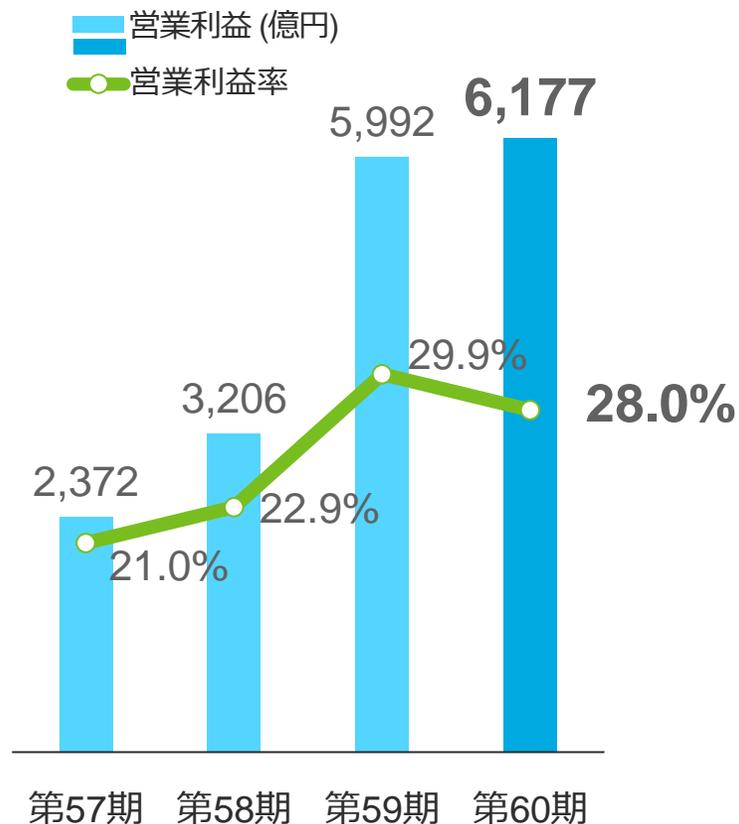
	第59期		第60期		増減
		(%)		(%)	
資産合計	14,395	100.0	17,280	100.0	+2,884
負債合計	5,892	40.9	6,280	36.3	+387
純資産合計	8,503	59.1	10,999	63.7	+2,496
負債・純資産合計	14,395	100.0	17,280	100.0	+2,884

4年間の業績推移

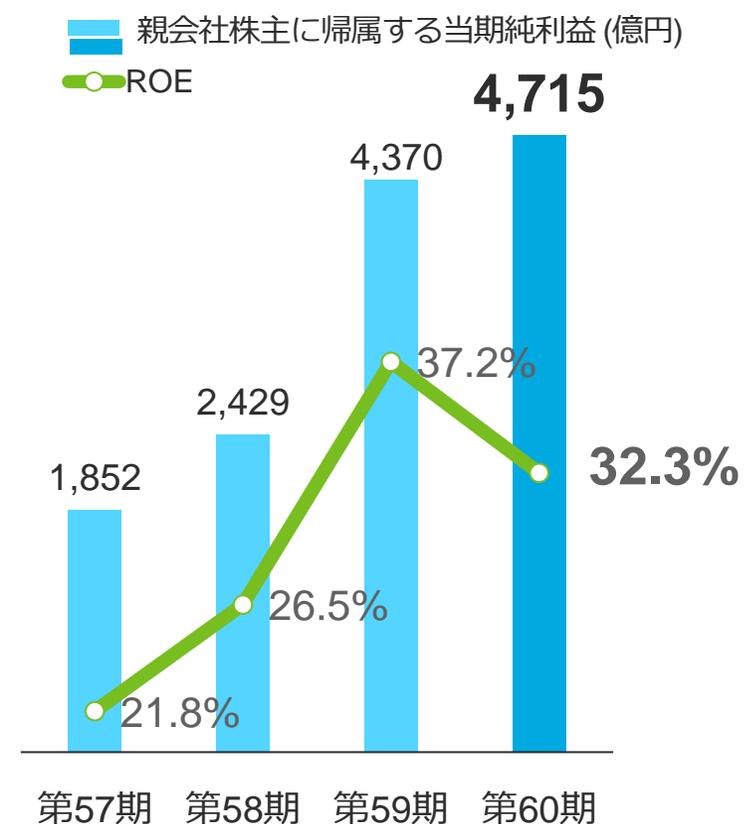
売上高と売上総利益率



営業利益と営業利益率



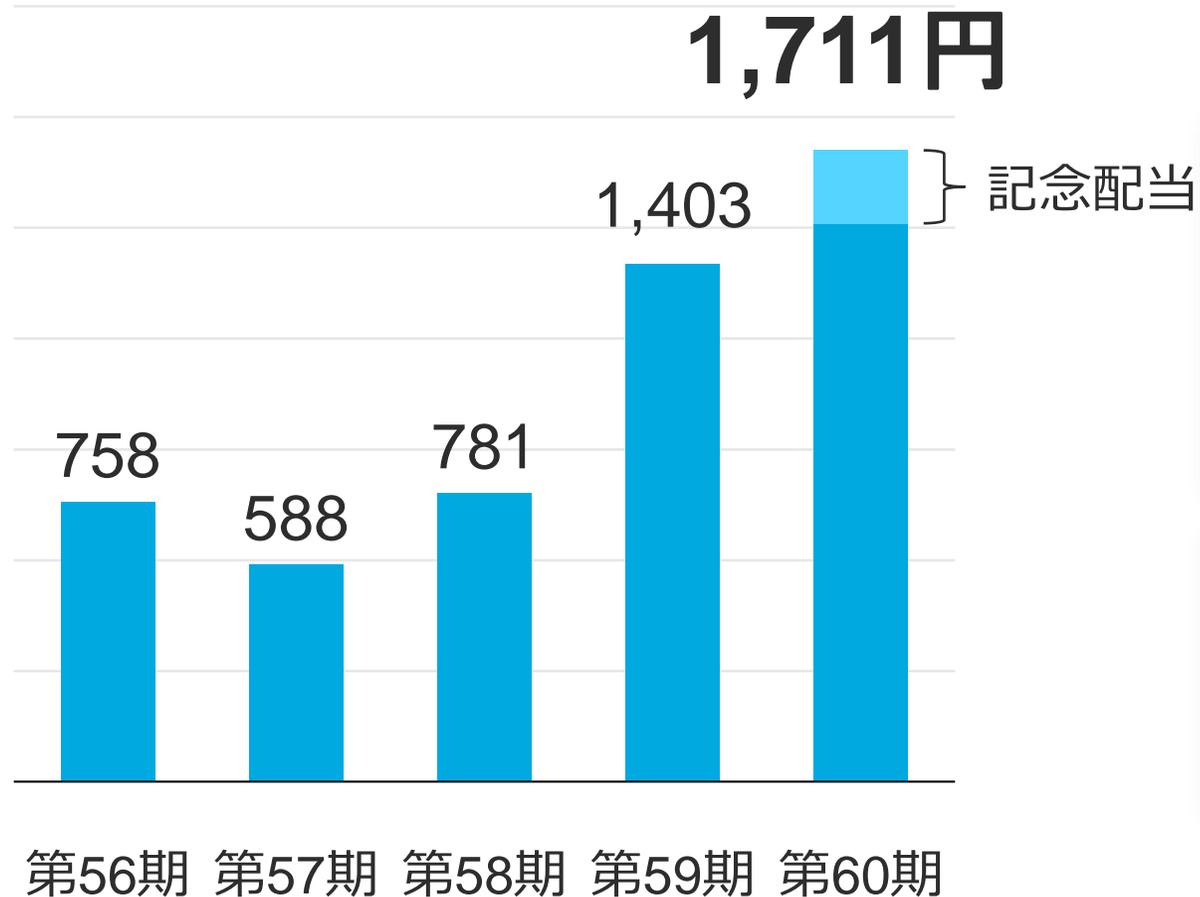
親会社株主に帰属する 当期純利益とROE



第60期は過去最高の売上高・営業利益額・当期純利益を達成

第60期 配当

【1株当たり配当金】



中間	期末	年間
857円	854円 うち記念配当 200円	1,711円

配当総額	連結配当性向
2,679億円	56.6%

第61期 業績見通し

足元の市況

- **マクロ経済の懸念**
(インフレ・政策金利・光熱費等の動向)
- **PC/スマートフォンの需要が一服**
- **メモリを中心とした半導体の在庫調整**

**今年の半導体製造装置市場は
4年ぶりのマイナス成長となる見込み**

今後の事業環境の見通し

- **半導体装置市場は徐々に回復。2024年以降力強く成長**

<主なけん引役>

**データセンタ向け投資・PC/スマートフォン需要の回復・
EV/自動運転の普及・生成AIの活用**

第61期 連結業績見通し

(億円)

	上期	下期	通期
売上高	7,900	9,100	17,000
営業利益	1,610 20.4%	2,320 25.5%	3,930 23.1%
経常利益	1,620	2,330	3,950
税引前利益	1,620	2,330	3,950
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,200	1,800	3,000

市場は調整段階も成長投資を継続
過去最高の研究開発投資 2,000億円を計画

中長期的な利益と継続的な 企業価値の向上を目指して

1. 事業環境
2. 中期経営計画
3. さらに企業価値向上を目指して
4. 株主の皆さまへの還元

1. 事業環境

テクノロジーの登場と進化

生成AI



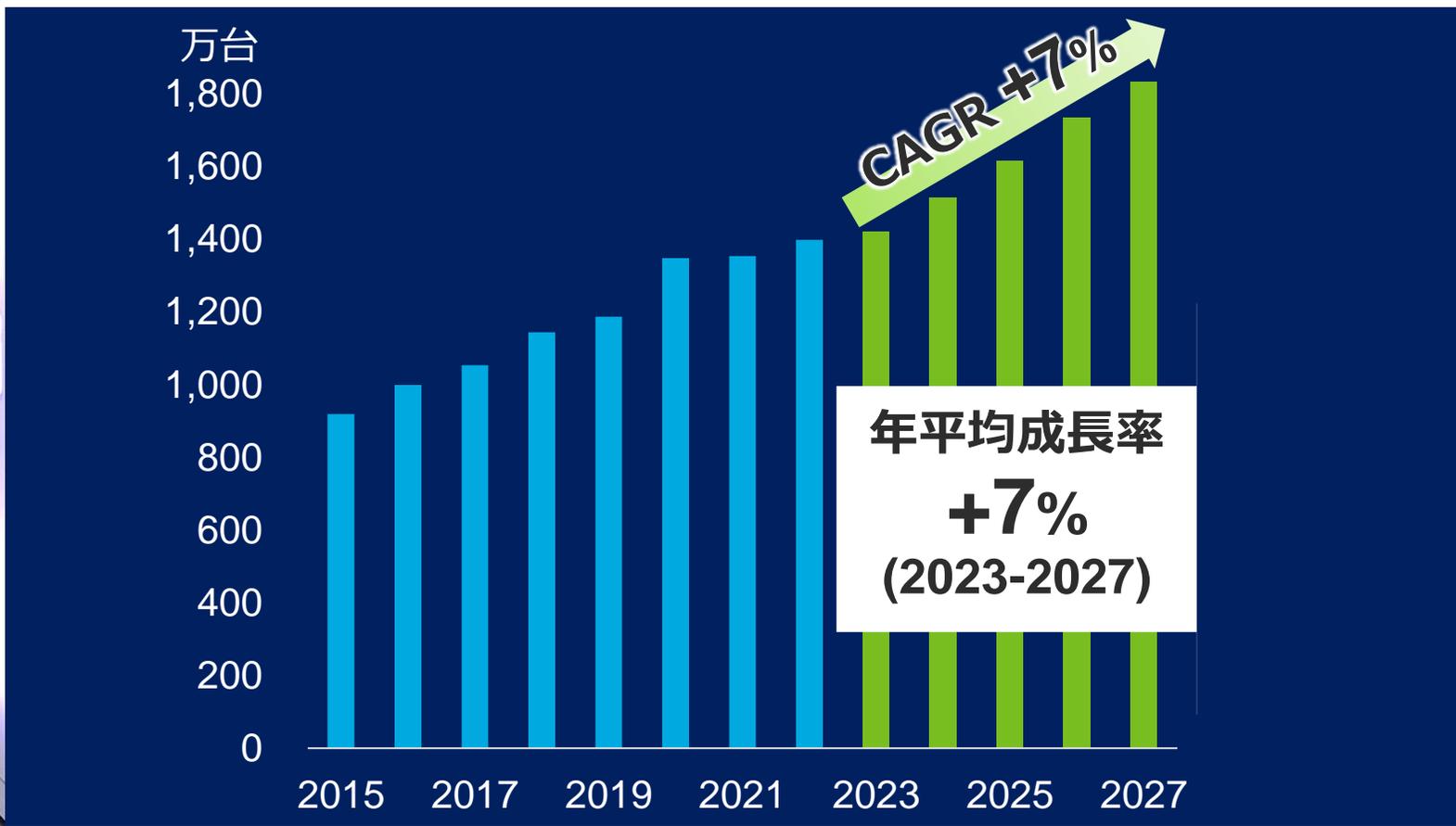
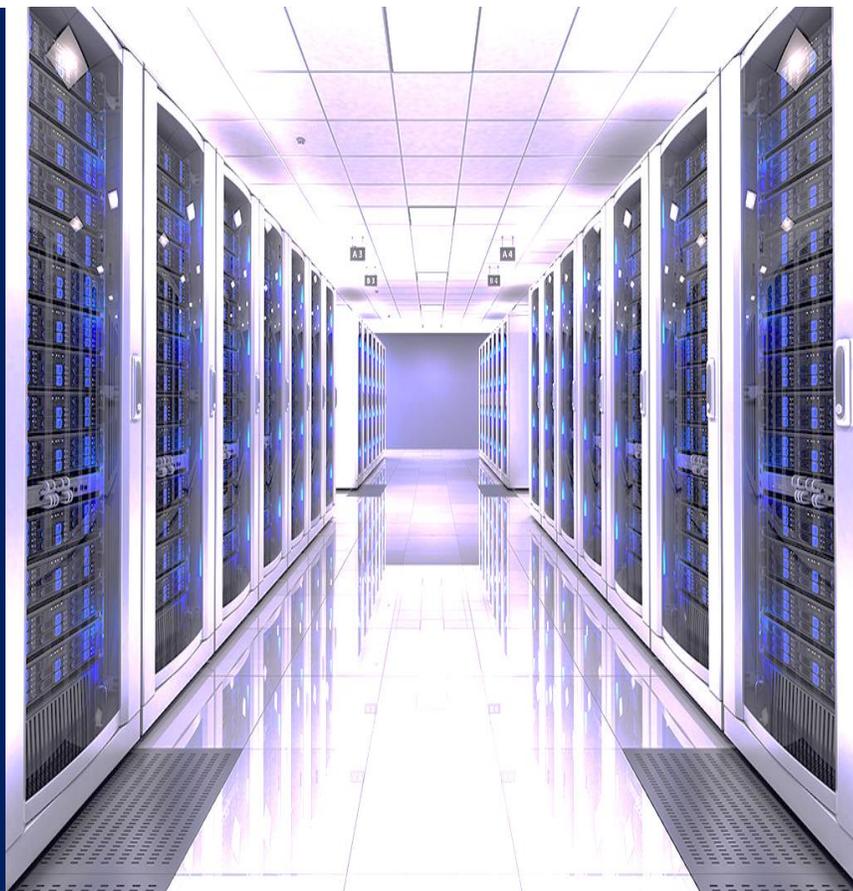
メタバース



自動運転



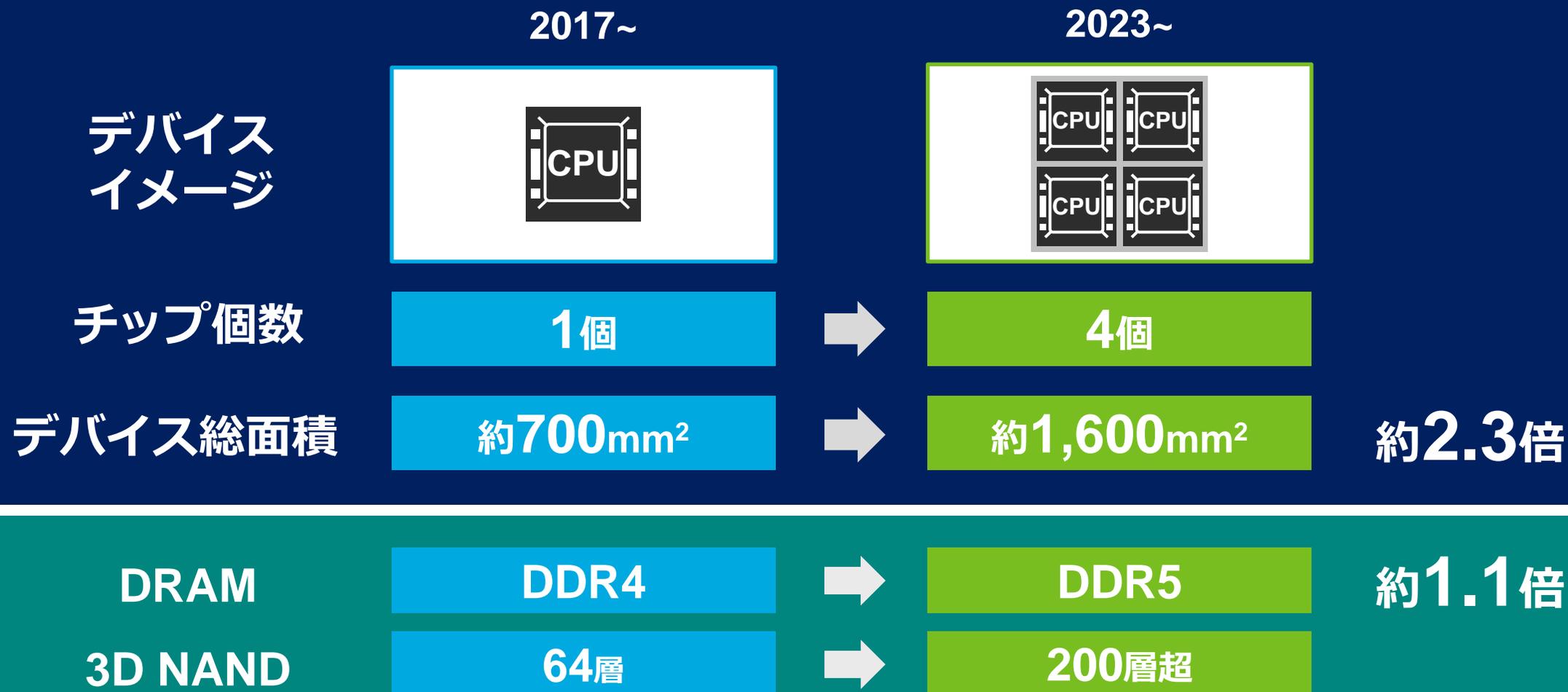
新たなアプリケーションがサーバー需要を牽引



Source : Omdia

サーバー市場はさらなる成長フェーズへ

サーバー用半導体の進化



当社推定

生成AIに不可欠な先端半導体

Source : Omdia



半導体市場のさらなる成長ドライバーに

世界のデータ通信量

年平均伸び率
CAGR 26%

(2020-2030)

Zetta byte

35
30
25
20
15
10
5
0

1990年

2000年

2010年

2020年

2030年

2040年

PC
セントリック



モバイル
セントリック



データ
セントリック



ビット
コンピュータ

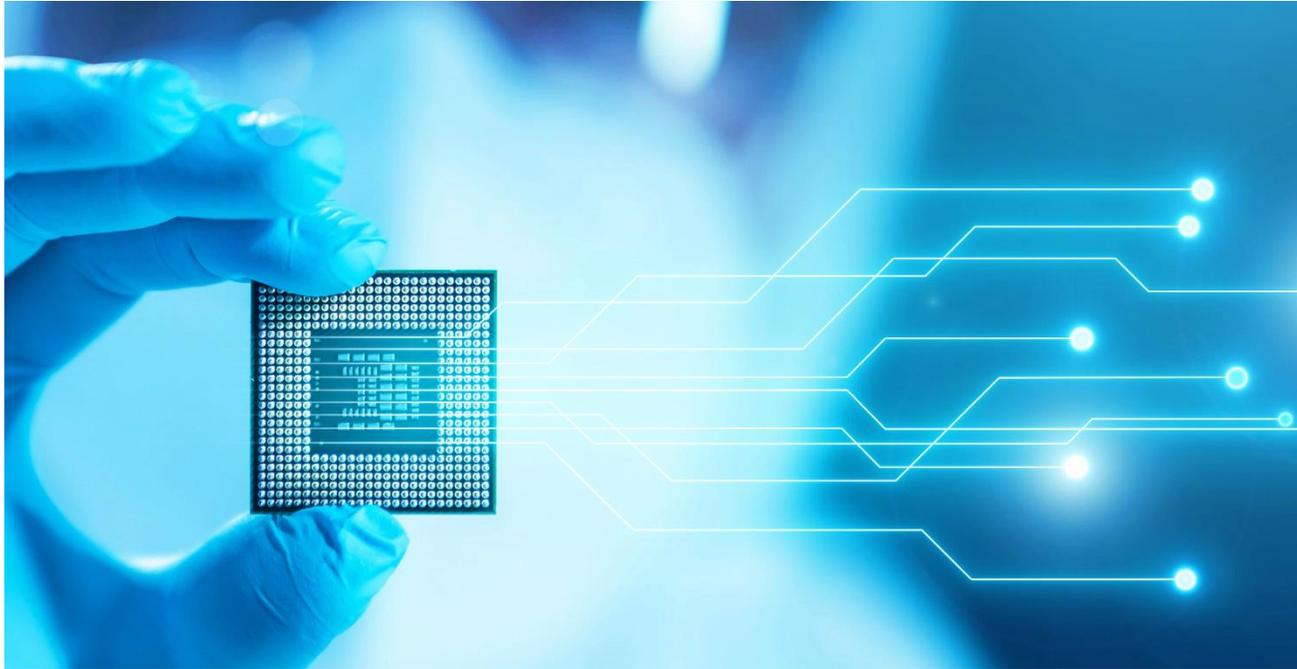
量子
コンピュータ

脳型
コンピュータ

社会のデジタル化はまだ始まったばかり
真のビッグデータ時代へ、コンピューティングは進化

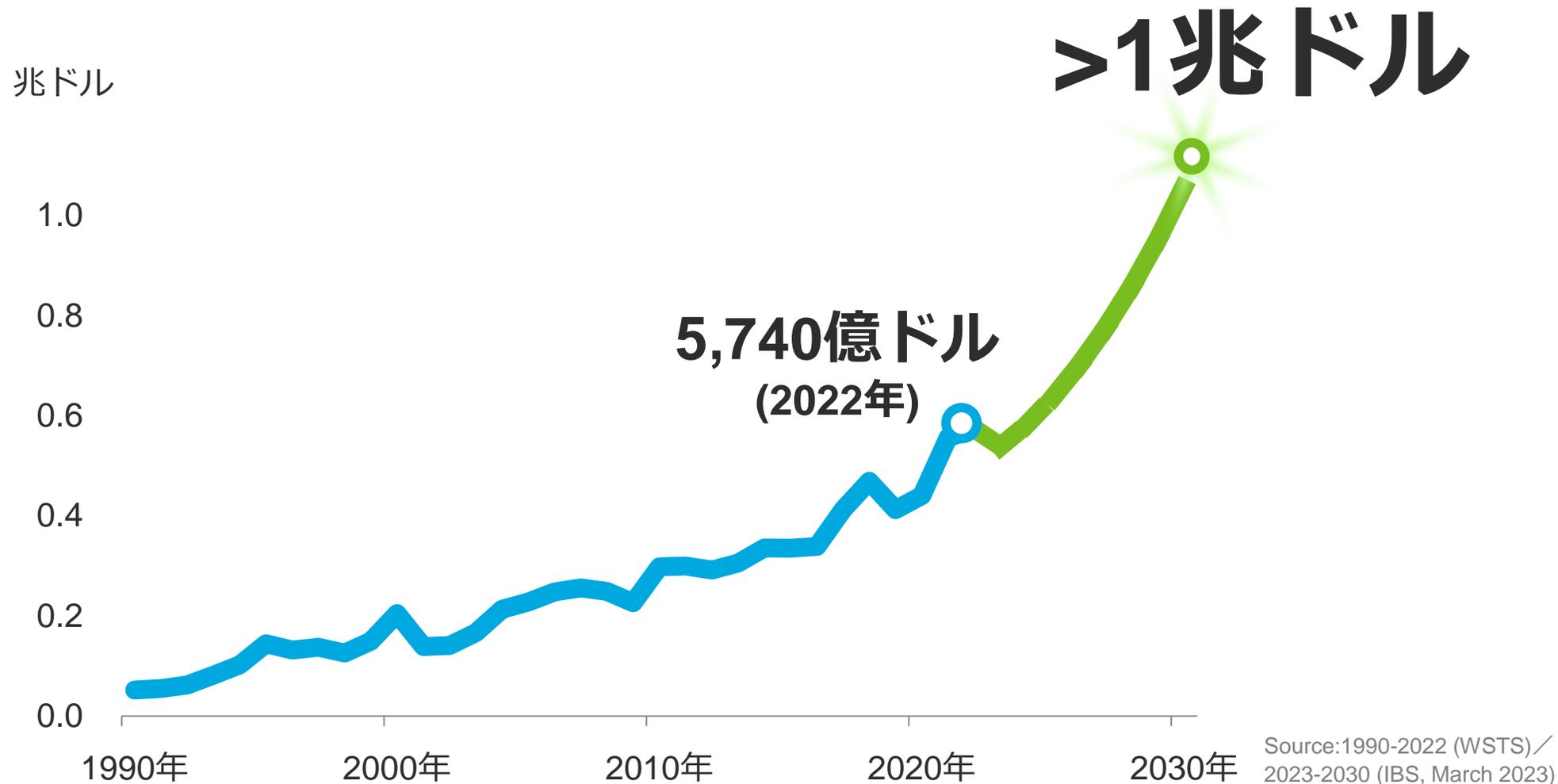
Source: Omdia (1990-2030),
TEL estimation (2030-2040)

半導体の技術革新は止まらない



大容量・高速・高信頼性・低消費電力を追求

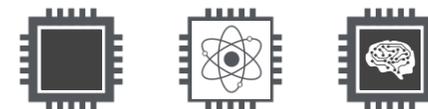
半導体市場の展望



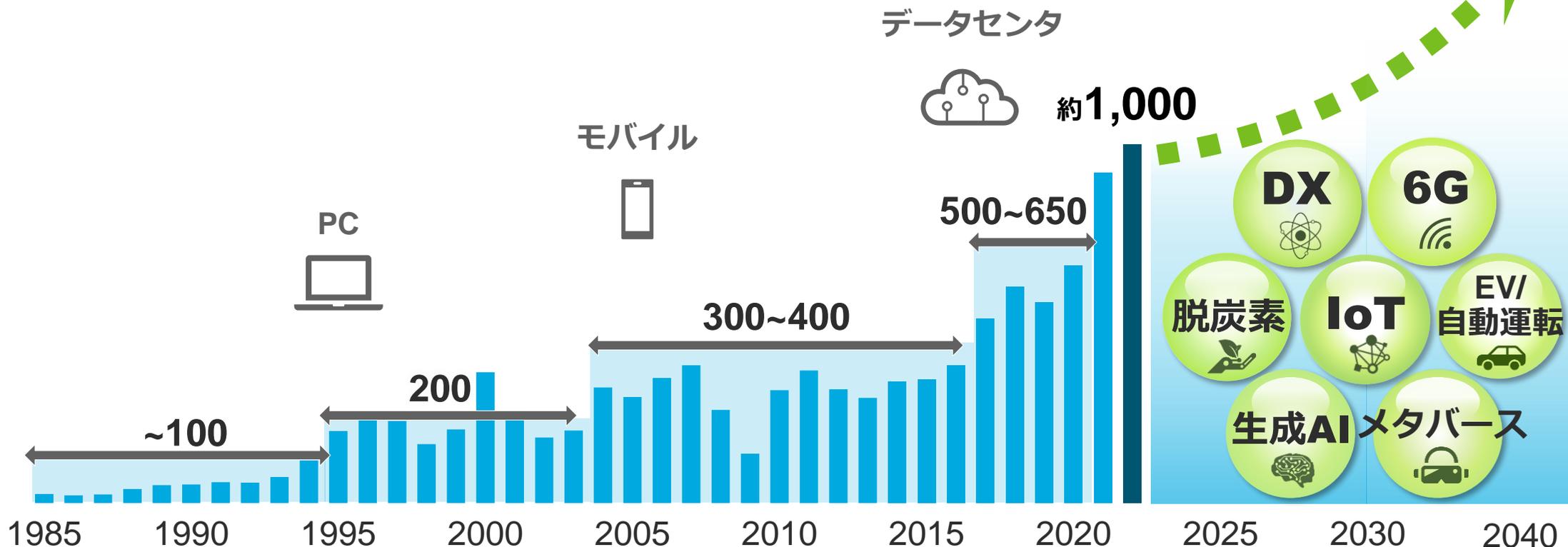
2030年、半導体市場は倍増すると予測

半導体前工程における製造装置市場

ダイバーズ・
コンピューティング
(ビット・量子・脳型)



(億米ドル)



Source : TechInsights Manufacturing Analysis Inc. (1985~2022)

デジタル化と脱炭素化の両立を支えるさまざまな技術により
製造装置市場は一段と成長

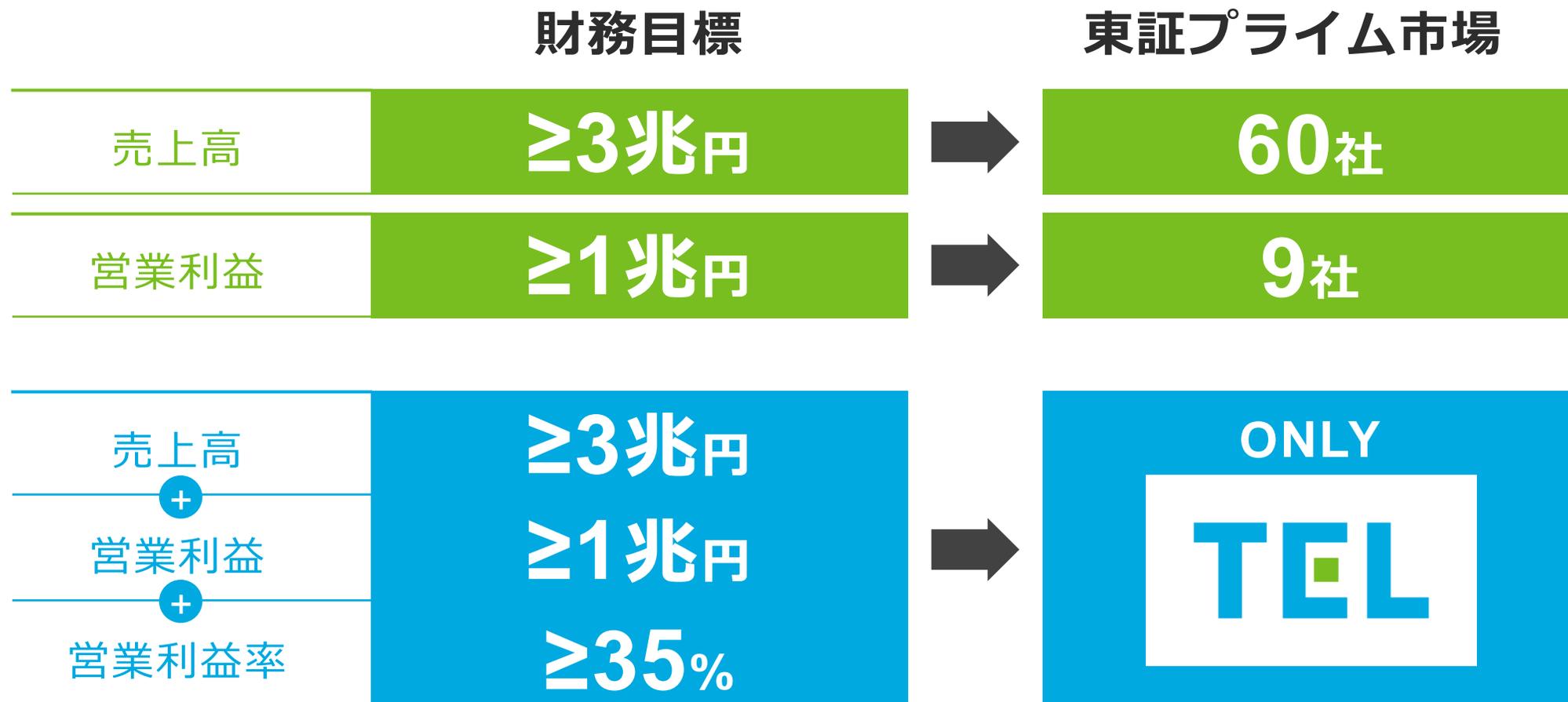
2. 中期経営計画

中期経営計画 財務目標（2022年6月発表）

財務目標（~2027年3月期）	
売上高	≥ 3兆円
営業利益率	≥ 35%
ROE	≥ 30%

東証プライム市場で唯一無二の存在に

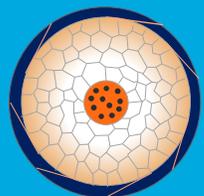
2023年6月16日時点



驚くべき半導体の微細化レベル

20,000分の1

毛髪の直径



0.1ミリメートル

煙の粒子



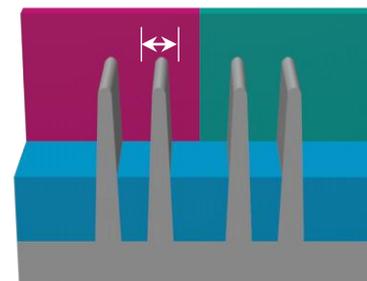
100ナノメートル

ウイルス



14ナノメートル

最先端半導体
加工寸法



約5ナノメートル

1ナノメートル = 10億分の1メートル

半導体の加工技術は究極の領域へ

TELの強みを活かす

Only
one



成膜



塗布現像



エッチング



洗浄

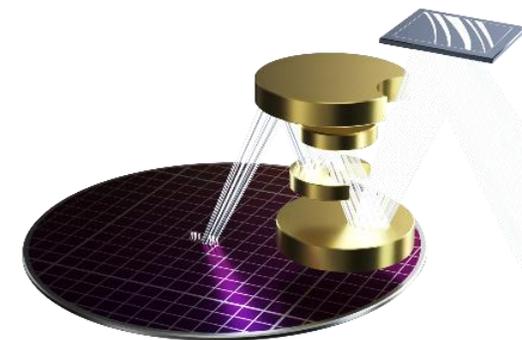
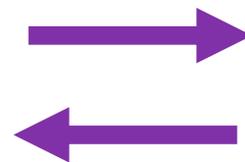
4連続工程に装置をもつ

TELの強みを活かす

100%



塗布現像



EUV露光

EUV露光用 塗布現像装置シェア 100%

EUV: Extreme Ultraviolet = 極端紫外線

TELの強みを活かす

主要製品と世界シェア*

1位



塗布現像

2位



洗浄

2位



プラズマ
エッチング

1位



ガスケミカル
エッチング

1位



拡散炉

1位



バッチ
成膜

2位



メタル
成膜

2位

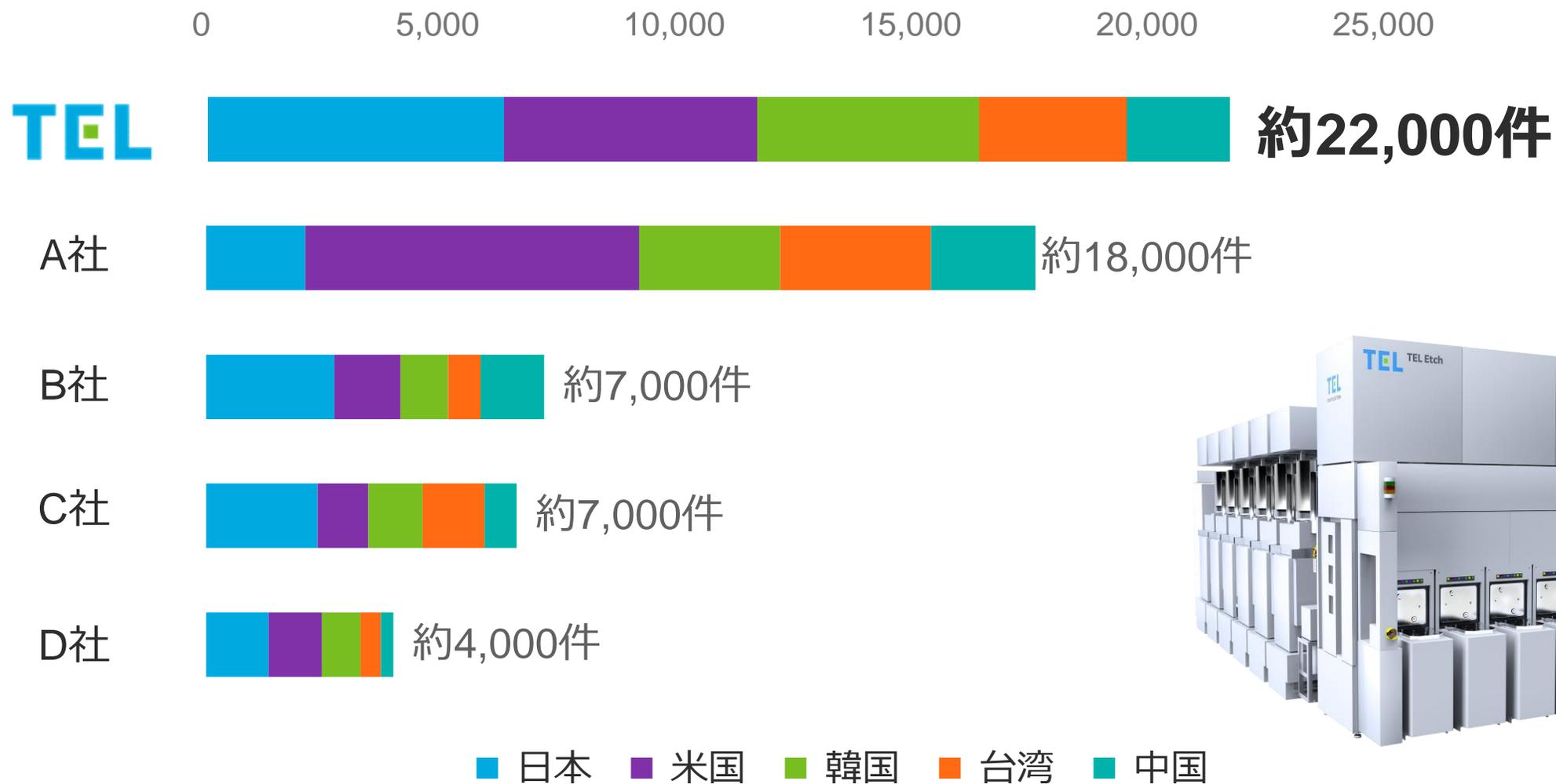


プローバ

*当社推定

シェア世界 1位、2位の製品群

装置メーカー別の登録特許維持件数 (2023年3月末時点/当社調べ)



知的財産分野で外部機関より高評価を獲得

- クラリベイト（旧トムソンロイター）

Top 100

Global Innovator 2023

- レクシスネクシス

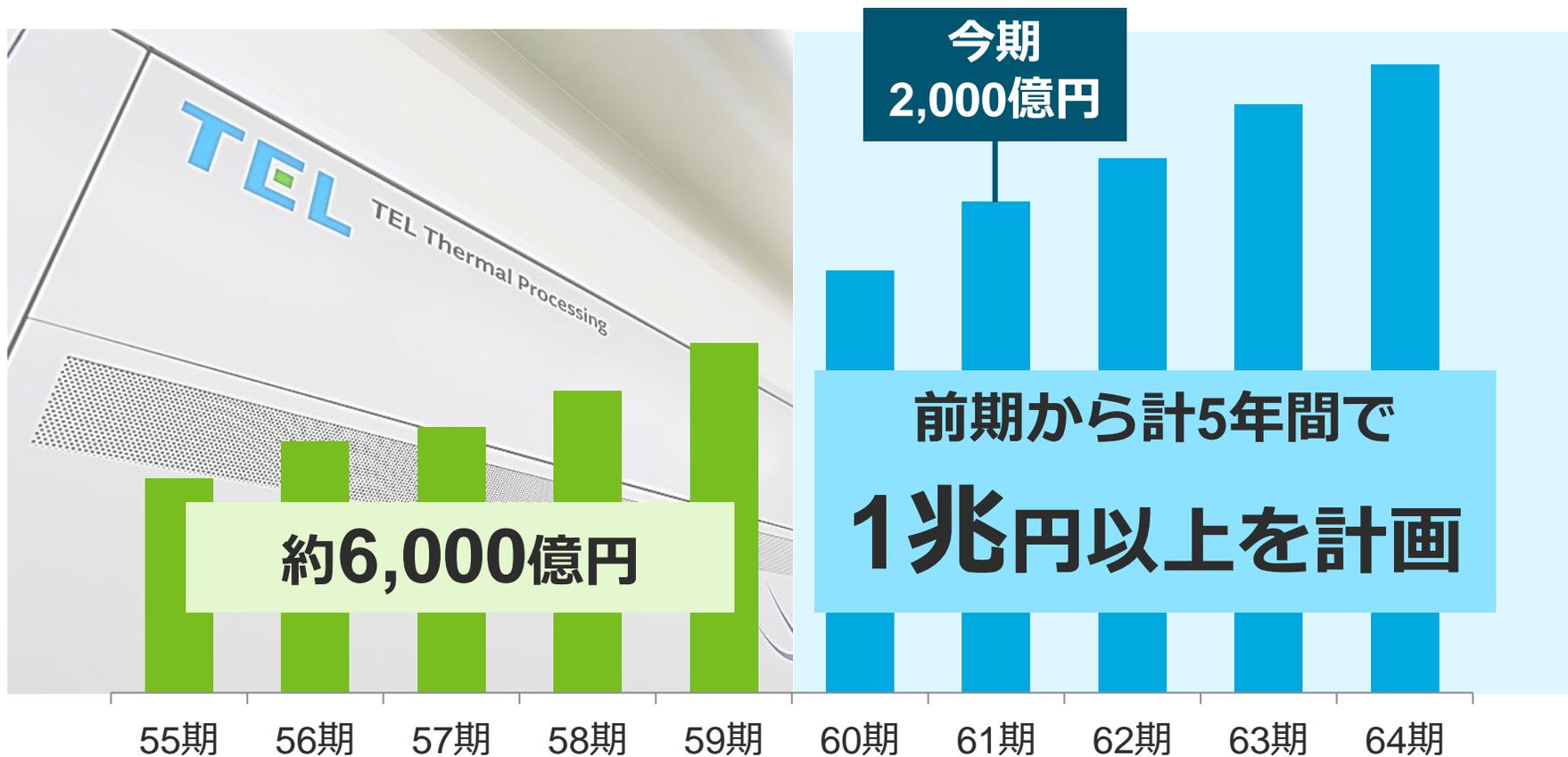
Innovation Momentum 2023 The Global Top 100

- パテント・リザルト

半導体製造装置 特許資産規模ランキング 3年連続1位



研究開発投資



付加価値の高い次世代製品の継続的な創出に向けて
継続した研究開発費を投入

設備投資

山梨 新開発棟

2023年夏 竣工予定



山梨県韮崎市

宮城 新開発棟

2025年春 竣工予定



宮城県大和町

熊本 新開発棟

2025年夏 竣工予定



熊本県合志市

岩手 生産・ 物流センター

2025年秋 竣工予定



岩手県奥州市

**今期過去最大の1,240億円、
第64期までに4,000億円超の設備投資を見込む**



Metaverse

Autonomous
mobility

Green
energy

IoT &
Information

Communic-
ations

■ 10年後、市場は倍増すると予想

- ✓ シェア1位 / 2位の製品群
- ✓ 世界最大の出荷実績（約88,000台）
- ✓ 環境性能、安全性能の追求

■ MAGIC市場 売上高

- ✓ 第60期：約5,000億円



**TELの装置を通らない
半導体は世の中にはない**

**利益は製品・サービスの
価値の大きさを示す尺度**

強みをさらに磨く

3. さらに企業価値向上を目指して

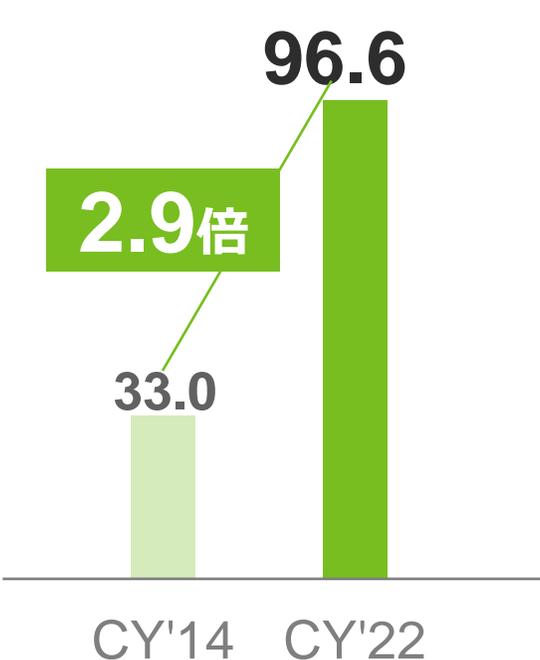
創立60周年を迎えて

TEL

60[↑]
years

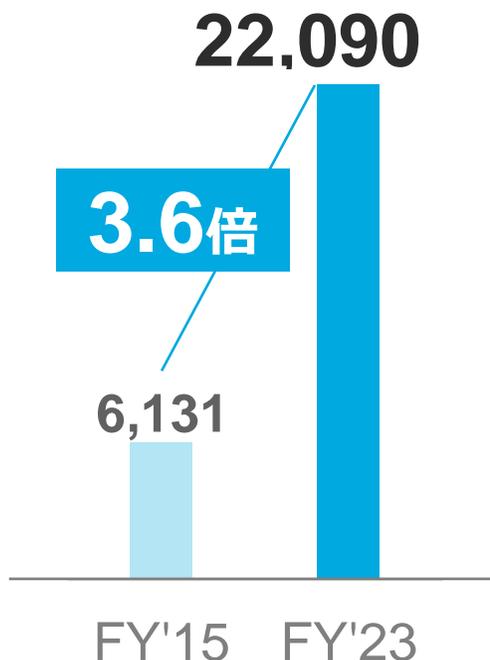
TELの成長軌跡（FY'15とFY'23実績の比較）

半導体前工程製造
装置（WFE）市場（\$B）

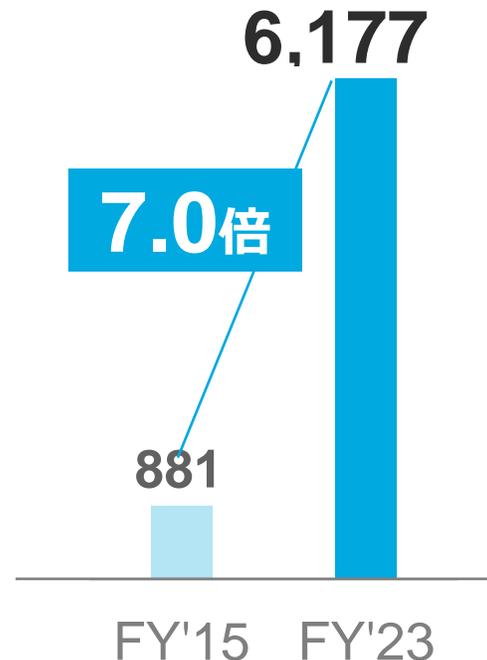


Source : TechInsights Manufacturing
Analysis Inc. (VLSI)

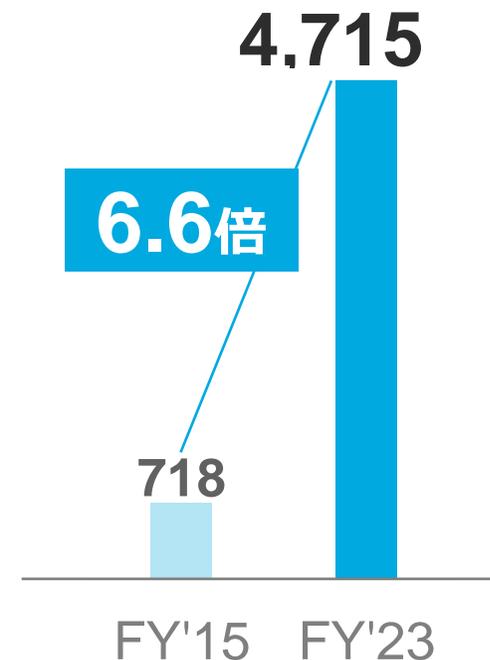
売上高（億円）



営業利益（億円）



親会社株主に帰属する
当期純利益（億円）



市場成長を大きくアウトパフォーム

TEL 時価総額 (2014年1月 ~ 2023年6月)



**中期経営計画の達成と共に
さらなる企業価値の向上を目指す**

新ビジョン

半導体の技術革新に貢献する夢と活力のある会社

東京エレクトロンは、世の中の持続的な発展を支える半導体の技術革新を追求します。

当社の専門性を生かし、付加価値の高い最先端の装置と技術サービスを継続的に創出することで、中長期的な利益の拡大と継続的な企業価値の向上を目指していきます。

そして、企業の成長は人、社員は価値創出の源泉と位置づけ、ステークホルダーとのエンゲージメントを通じて、このビジョンの実現に向けて活動してまいります。



コーポレートメッセージ

Technology Enabling Life

CSV (Creating Shared Value : 共有価値の創造)

企業の専門性を活用して社会課題を解決し社会的価値と経済的価値を創出することで
持続的な成長を実現するという考え方



TSV

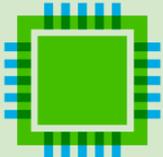
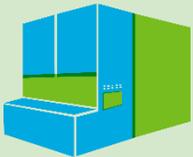
TEL's Shared Value

半導体の技術革新に貢献

サステナビリティへのアプローチ

E-COMPASS

Environmental Co-Creation by Material, Process and Subcomponent Solutions

半導体	製造装置	事業活動
デバイスの高性能化と 低消費電力化 	装置のプロセス性能と 環境性能の両立 	事業活動全体における CO ₂ 排出量削減 

サプライチェーン全体で
半導体の技術革新と環境負荷低減を推進

世の中の持続的な発展を目指して

温室効果ガス排出実質ゼロ

Net Zero



当社のサプライチェーンにおける

- ・ スコープ 1 & 2 (自社の排出*) 2040年までに実現
- ・ スコープ 3 (自社以外の排出**) 2050年までに実現

*スコープ 1 & 2 : 事業活動における電力などのエネルギー使用による排出

**スコープ 3 : 販売した装置の使用や廃棄、資材の購入や物流などにおける排出

4. 株主の皆さまへの還元

還元に関する基本的な考え方

**付加価値の高い最先端の装置と
技術サービスを継続的に創出**



**短中長期の利益を同時に志向
持続的な企業価値の向上**



ステークホルダーへの適切な還元

連結配当性向：50%

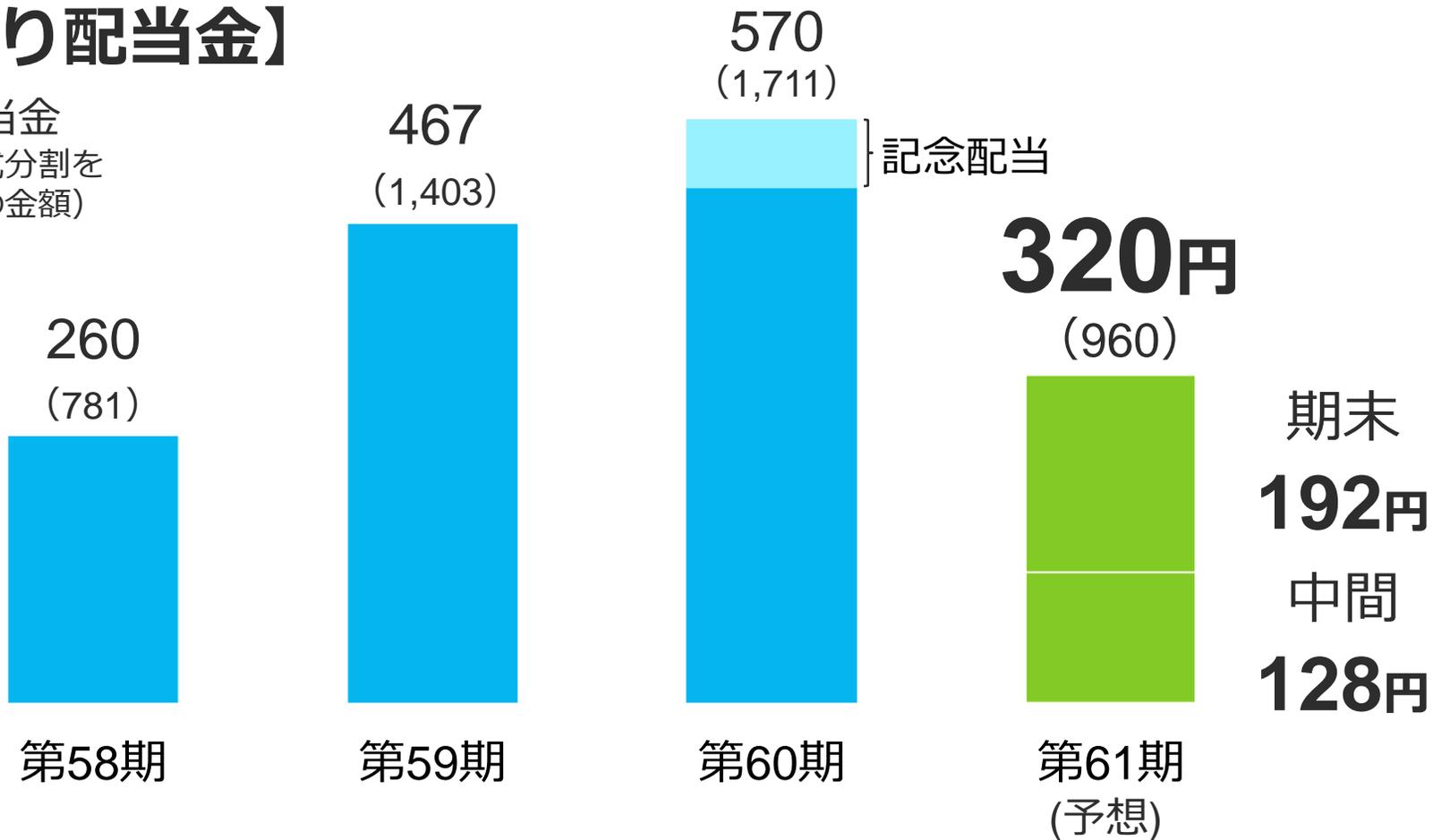
但し、1株当たり年間配当金50円を下回らない

2期連続して当期利益を生まなかった場合は、配当金の見直しを検討する

第61期 配当金予想

【1株当たり配当金】

1株当たり配当金
(カッコ内は株式分割を
考慮しない場合の金額)



通期配当金は320円を予定

総還元額

(億円)

3,000

2,500

2,000

1,500

1,000

500

0



第58期



第59期

2,679



第60期

2,703



第61期
(予想)

} 記念配当

■ 自己株式取得額

■ 支払配当金

**今後も一層の株主価値向上に
取り組むとともに
すべてのステークホルダーの期待に
応えてまいります**

半導体 = 未来

さらなる成長フェーズ



企業の成長は

人

世の中にない技術を創造



挑戦と進化を続ける



TEL
Safety First

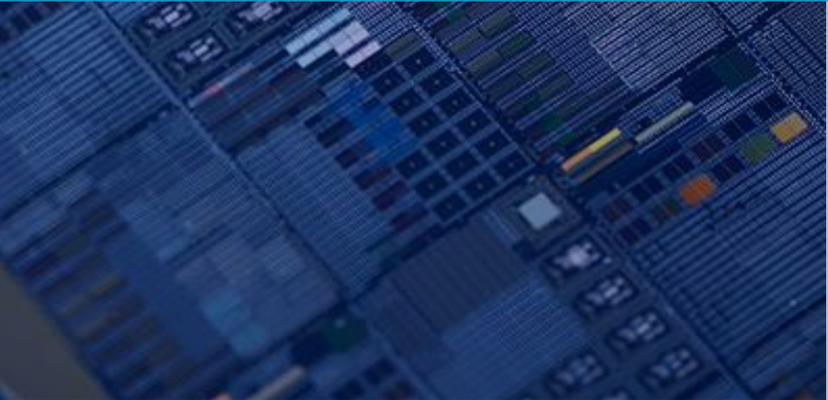
TEL
Safety First

TEL
Safety First

世界ナンバーワン を目指して



Technology Enabling Life



TEL™

TOKYO ELECTRON

決議事項

1. 取締役 6名選任の件
2. 監査役 2名選任の件
3. 第60期取締役賞与金支給の件
4. 当社取締役に対し株式報酬として新株予約権を発行する件
5. 当社及び当社子会社の役員等に対し株式報酬として新株予約権を発行する件

第1号議案

取締役 6名選任の件

第1号議案 取締役6名選任の件

<取締役候補者氏名>

- | | | | | | |
|----|----------------------------------|----------------------------------|----|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. | <small>かわい</small>
河合 | <small>としき</small>
利樹 | 4. | <small>ささき</small>
佐々木 | <small>みちお</small>
道夫 |
| 2. | <small>ささき</small>
佐々木 | <small>さだお</small>
貞夫 | 5. | <small>えだ</small>
江田 | <small>まきこ</small>
麻季子 |
| 3. | <small>ぬのかわ</small>
布川 | <small>よしかず</small>
好一 | 6. | <small>いちかわ</small>
市川 | <small>さちこ</small>
佐知子 |

注) 佐々木道夫氏、江田麻季子氏及び市川佐知子氏につきましては、会社法第2条第15号に定める社外取締役候補者であります。

第2号議案

監査役 2名選任の件

第2号議案 監査役2名選任の件

<監査役候補者氏名>

- | | | |
|----|-----|-----|
| | たはら | かずし |
| 1. | 田原 | 計志 |
- | | | |
|----|------|-------|
| | ななさわ | ゆたか |
| 2. | 七澤 | 豊（新任） |

注) 田原計志氏、七澤豊氏を監査役候補者とする件につきましては、監査役会の同意を得ております。

報酬構成と付議議案の関係について

	固定基本報酬	年次業績連動報酬		中期業績連動報酬	非業績連動報酬
	現金	現金賞与	株式報酬型 ストック オプション	パフォーマンスシェア (株式報酬)	リストラクテッド・ ストック・ユニット (株式報酬)
取締役 (社外取締役を除く)	第48期定時株主総会 においてご承認	第3号議案	第4号議案	第55期定時株主総会 においてご承認	—
社外取締役	第58期定時株主総会 においてご承認	—	—	—	第57期定時株主総会 においてご承認
監査役	第48期定時株主総会 においてご承認	—	—	—	—
当社及び当社 子会社の役員等			第5号議案		

第3号議案

第60期取締役賞与金 支給の件

第3号議案 第60期取締役賞与金支給の件

第60期取締役賞与金	
対象者	第60期末日時点在籍の取締役3名 (社外取締役3名を除く)
報酬額	総額 9億8,730万円

第4号議案

当社取締役に対し株式報酬として
新株予約権を発行する件

第4号議案 当社取締役に対し株式報酬として 新株予約権を発行する件

取締役に対する株式報酬（ストックオプション）	
対象者	本総会で選任される当社取締役3名 （社外取締役3名を除く）
報酬額	総額 9億8,600万円の範囲内

第4号議案 当社取締役に対し株式報酬として 新株予約権を発行する件

取締役に対する株式報酬（ストックオプション）の内容	
新株予約権の総数	新株予約権数 756個（上限）
	当社普通株式 75,600株（上限）
新株予約権の発行価額	無償
1株当たりの払込金額	1円
権利行使期間	3年間の権利行使制限期間を設定 行使期間は新株予約権の割当日から3年を経過する日の翌月1日から、 新株予約権の割当日から20年を経過する日の前月末日まで
行使条件	① 新株予約権1個を最低行使単位とする ② その他の権利行使の条件は、お手元の招集ご通知をご参照ください

第5号議案

当社及び当社子会社の
役員等に対し株式報酬として
新株予約権を発行する件

第5号議案 当社及び当社子会社の役員等に対し 株式報酬として新株予約権を発行する件

株式報酬（ストックオプション）の内容

<p>対象者</p>	<p>当社コーポレートオフィサー、当社執行役員、当社幹部社員 子会社取締役、子会社執行役員、子会社幹部社員 ※対象者は101名 (ただし、割当日時点で当社取締役と兼務する者を除く)</p>
<p>新株予約権の総数</p>	<p>新株予約権数 2,049個（上限） 当社普通株式 204,900株（上限）</p>
<p>新株予約権の発行価額</p>	<p>無償</p>
<p>1株当たりの払込金額</p>	<p>1円</p>
<p>権利行使期間</p>	<p>3年間の権利行使制限期間を設定 行使期間は新株予約権の割当日から3年を経過する日の翌月1日から、 新株予約権の割当日から20年を経過する日の前月末日まで</p>
<p>行使条件</p>	<p>① 新株予約権1個を最低行使単位とする ② その他の権利行使の条件は、お手元の招集ご通知をご参照ください</p>

TEL™

TOKYO ELECTRON